

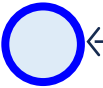
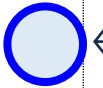
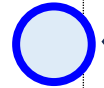
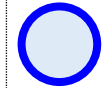
















# #28(2025年度第1回) CN専門委員会

2025.7.16

(一社)日本自動車車体工業会 事務局

2025年7月16日(水)10:30~12:00

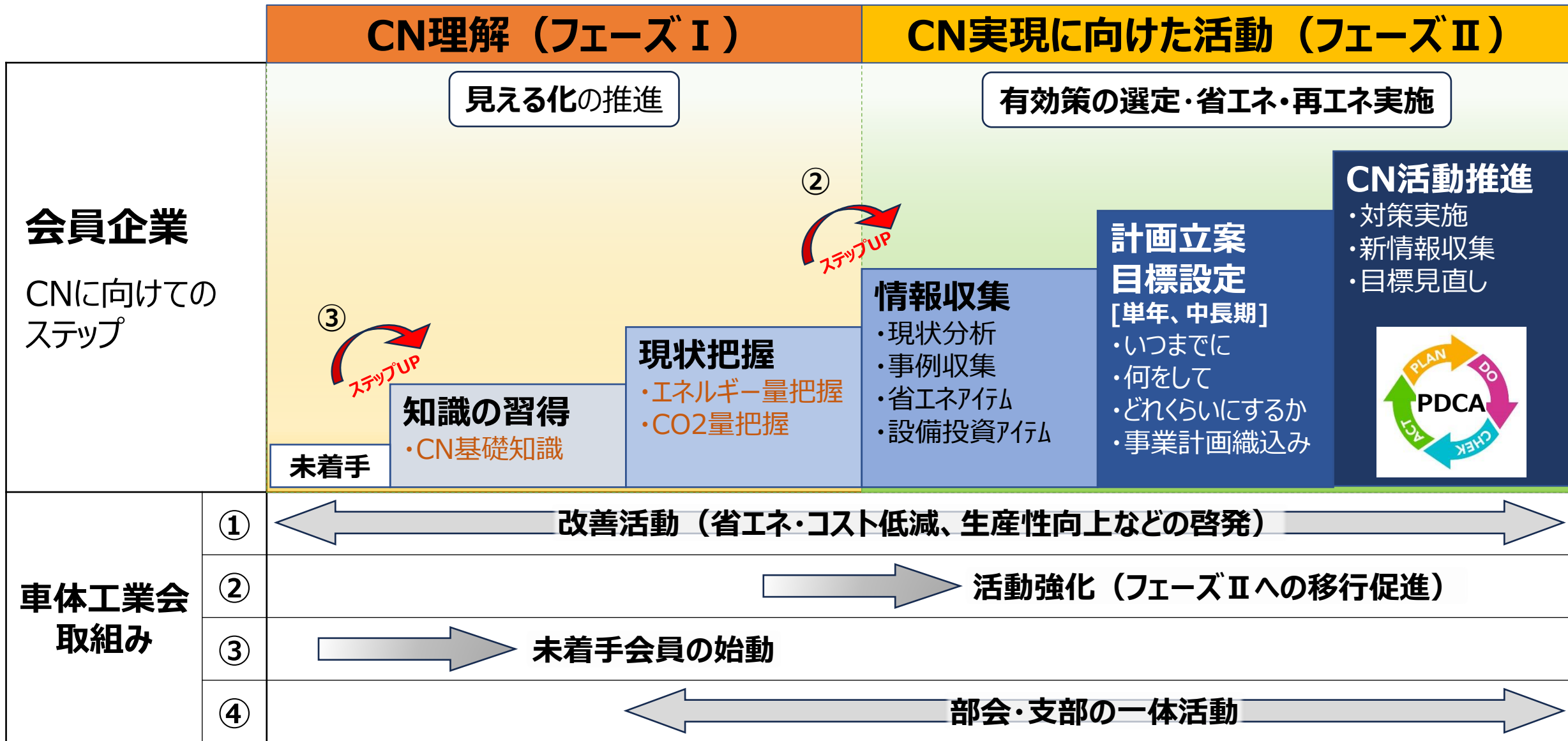
内 容		時 間	
① 委員長挨拶	富山委員長	10:35~10:40	
② 出席者確認	新任委員ご挨拶	10:40~10:45	
③ 2025年度計画確認	取組み重点項目の確認	10:45-10:55	
④ 2025年度実績報告	全体	10:55-11:05	
	トピックス	環境委員会	11:05-11:15
		中央業務委員会	11:15-11:25
		中央技術委員会	11:25-11:35
⑤ 部会の困り事、課題の把握		11:35-11:55	
⑥ まとめ		11:55-12:00	

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CN専門委員会				7/16(水) 10:30 ~12:00 	フィードバック ↓		10/29(水) 10:30 ~12:00 	フィードバック ↓	12/22(月) 10:30 ~12:00 	フィードバック ↓		3/12(木) 10:30 ~12:00 
環境委員会				7/4(金) 			10/21(火) 		12/10(水) 			3/2(月) 
中央技術委員会				7/8(火) 	実施内容報告		10/22(水) 	実施内容報告	12/15(月) 	実施内容報告		3/6(金) 
中央業務委員会				7/9(水) 			10/23(木) 		12/16(火) 			3/5(木) 
広報委員会		5/30(金) 			8/29(金) 			11/28(金) 			2/27(金) 	

実施内容・次年度計画報告

## ③ 2025年度事業報告

# (1) カーボンニュートラル推進活動概要



## (2) 各本部委員会の役割

### 2050年カーボンニュートラル達成に向け、各委員会が主導

<b>CN専門委員会</b>	各委員会の実施状況を確認し <b>方向性の議論や提案をフィードバック</b> ▶ 5団体連携活動、セミナー、講演会などを計画・実施し情報展開
<b>環境委員会</b>	カーボンニュートラルに向けた <b>具体的な計画や実施を行う</b> ▶ 会員のCO <sub>2</sub> 排出状況調査・分析、支援、情報収集・展開
<b>中央技術委員会</b>	電動化に伴う、 <b>技術的課題に対応</b> ▶ CJPTと連携※1「商用車電動化の課題※2」に対応 ▶ 今後は問題提起時に、都度協議を進める（現在提起なし）
<b>中央業務委員会</b>	会員の <b>CN取組状況などをアンケート調査</b> ▶ アンケート→CNページ(HP)紹介、困りごと収集に変更※3（現在問合せなし）
<b>広報委員会</b>	HPを利用した、 <b>会員のCN取組みを紹介</b> （'23-'24年度 5件掲載） ▶ 新たに委員会、部会・支部活動の紹介を計画・実施

※1 2022年実施  
※2 架装対応等

※3 '24年度より

- 24年度活動により

**フェーズ I の初期目的（CN理解）は達成**

- 未着手の会員へは

**各種情報展開を継続**

2050年の全会員CN実現に向け、CO2排出量低減に向けた活動を加速  
⇒ '24年度活動に加え、**削減事例**や**補助金**等の**情報発信**を強化

<p><b>重点取組み</b></p>	<p>①<b>活動強化</b>：CN実現に向けた活動促進 本部委員会：<b>情報発信を強化</b> ⇒ 目標設定の支援にも繋げる 部会：本部と連携した部会内への<b>情報展開</b>、<b>困りごとの収集・対応</b></p>
<p>継続推進</p>	<p>②<b>改善活動</b>（省エネ支援・コスト低減・生産性向上等）の<b>継続・深化</b> ③本部委員会と<b>部会(支部)</b>との<b>一体活動</b> ④LCA取組み情報の入手、展開 ⑤<b>部会の特徴</b>を踏まえた<b>実効性</b>ある取組み</p>

# ④ 2025年度実績報告 < CN 1/4期事業実績全体まとめ >

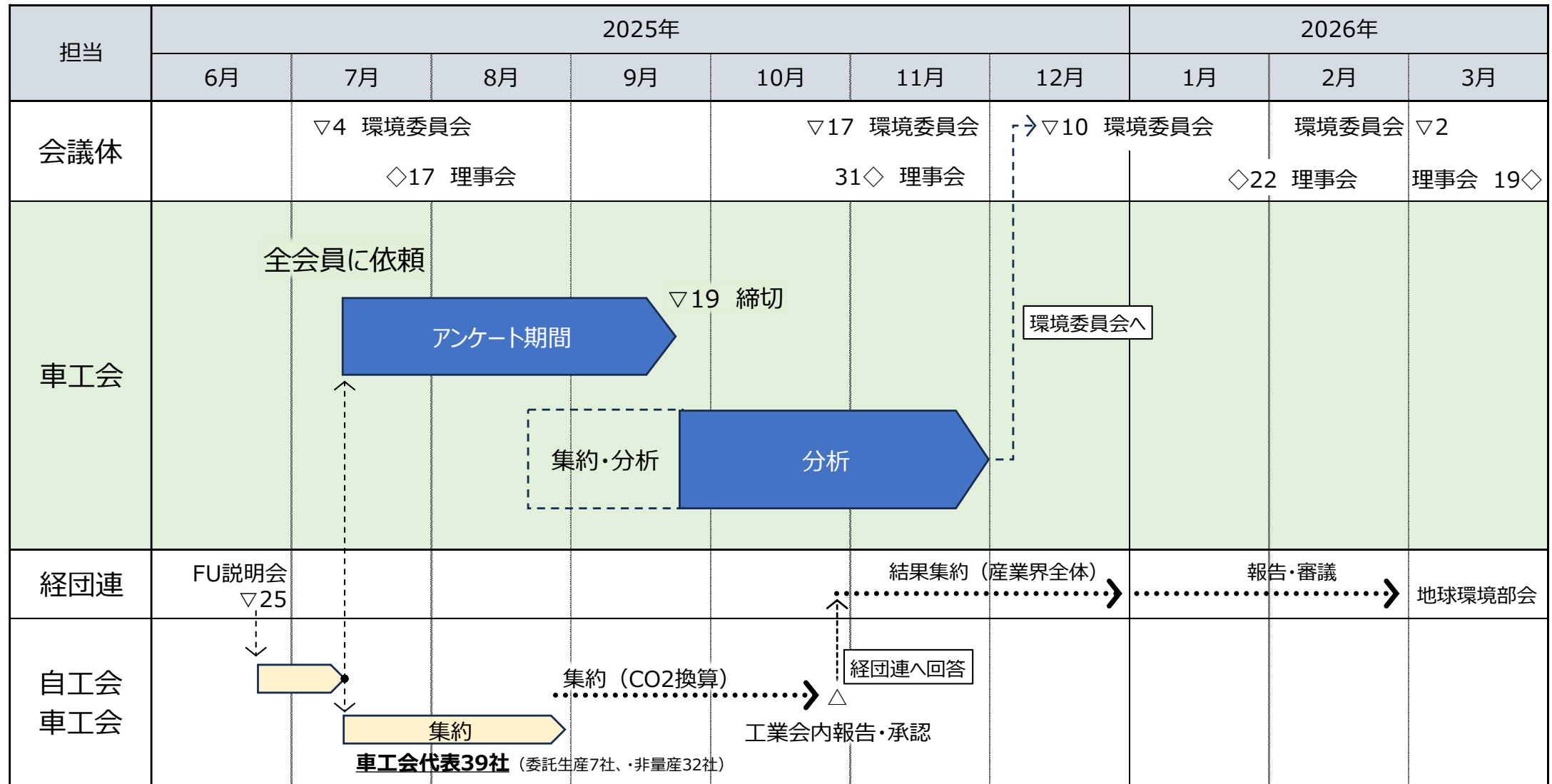


カテゴリ	実施事項	担当	KPI	25年度実績	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CN理解促進の<b>仕掛け先導</b></li> <li>・各委員会・部会・支部の活動内容確認と<b>情報共有</b></li> </ul>	CN	#1 7/16 #2 10/29 #3 12/22 #4 3/12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会・部会・支部のCN活動を本日確認</li> </ul>	○
他団体連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車<b>5団体</b></li> <li>・経団連モビリティ委員会等</li> </ul>	CN	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部工会・自工会情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部工会との情報交換会計画中</li> </ul>	○
現状把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>アンケート調査、困りごとへの対応</b></li> <li>・<b>未着手会員への対応</b></li> </ul>	中央業務部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回/月情報配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>HP周知と困りごと吸上げを毎月実施中</b></li> <li>・未着手会員にも情報展開は継続</li> </ul>	○ ○
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>省エネ改善事例の収集、展開</b></li> <li>・<b>改善事例集の作成、展開【事例WG】</b></li> <li>・<b>勉強会の開催</b></li> </ul>	環境 環境 CN	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集約事例のHP掲載</li> <li>・事例集1件</li> <li>・1件以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量調査と同時集約を予定</li> <li>・事例のHP掲載:<b>「儲かる,すぐできる,誰でもできるCN」</b>第2弾作成に着手</li> <li>・<b>会員事例紹介や他団体/官公庁主催セミナー・講演会を計画中</b></li> </ul>	○ ○ ○
計画立案 目標設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>CO2排出量調査 排出量増減分析【分析WG】</b></li> <li>・Scope3</li> </ul>	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間 非量産△1%以上 委託生産△2%以上 (電力係数の増減以外)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査を開始、集約後に前年度からの増減内容を分析する</li> <li>・目標達成の状況や設定有無を分析できるよう調査を追加</li> <li>・LCA、CFPの推進方法の情報収集を実施中</li> </ul>	○ ○
実行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとの確認と<b>現地支援</b></li> <li>・部会(支部)との<b>一体活動</b></li> <li>・<b>商用車電動化対応</b></li> </ul>	環境部会支部 中央技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援4件以上</li> <li>・部会、支部巻き込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援会社の選定を開始</li> <li>・CO2排出量調査での改善実施状況からも選定を追加予定</li> <li>・自工会と連携し<b>OEMからの電動化情報収集を計画</b></li> </ul>	○ ○ ○

## ④ トピックス（各委員会）

# 環境委員会

# (1) CO2排出量の調査スケジュール



CO2排出量 = Scope1,2

削減率

△0.7%低減  
(2022年度比)

# (2) CO2排出量実績の分析

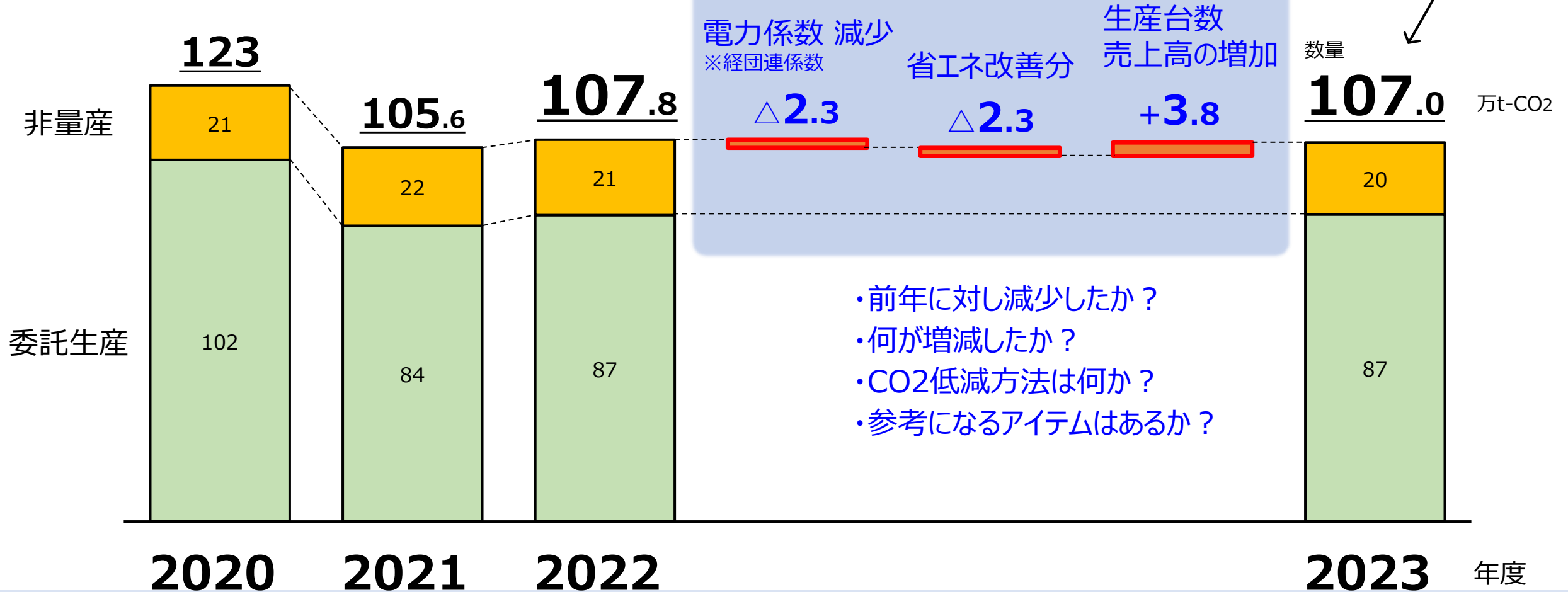
## 参考：24年度調査

【車工会全体 164社】 正144社、準20社

全体回答率 70.1% (前年 75.3%)

売上カバー率 99.6% (前年 99.6%)

## 増減分析

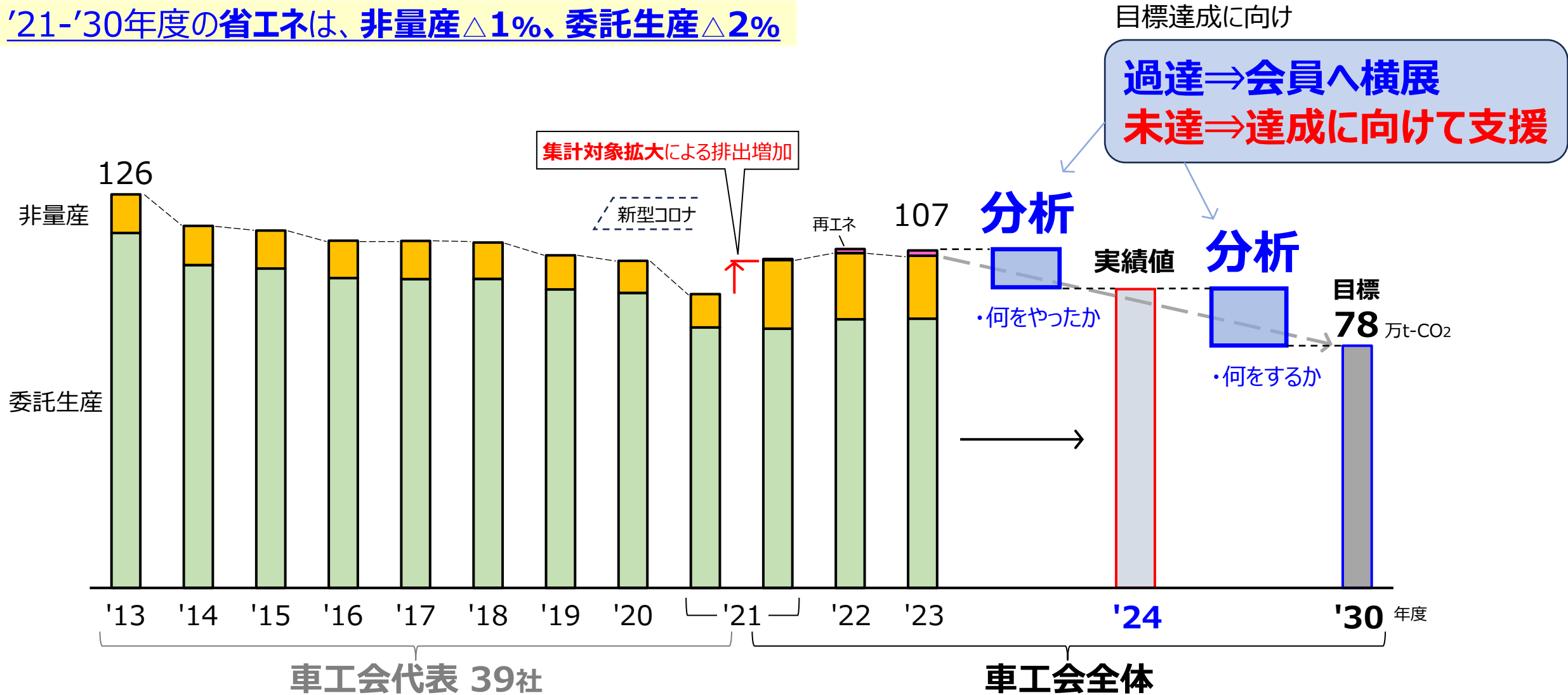


- ・前年に対し減少したか？
- ・何が増減したか？
- ・CO2低減方法は何か？
- ・参考になるアイテムはあるか？

# (3) 車工会の目標に対する達成状況

CO2排出量の目標※ **2030年度までに78万t-CO<sub>2</sub>** ('13年度比△38%)

'21-'30年度の省エネは、**非量産△1%、委託生産△2%**



# 中央業務委員会

# (1) 車体工業会CN活動の周知

・2023年度CNアンケートの結果、当会CNホームページの周知不足が分かったため、2024年度1月から毎月テーマを絞って正会員に向けてメール配信中

## 【2025年度実績】

③CN HP紹介#06 6/13  
「基礎知識/CO2/取組み」

②CN HP紹介#05 5/8  
「新着情報NEWS編その2」

①CN HP紹介#04 4/15  
「新着情報NEWS編」



**HPアクセス者数6.7%増加に貢献**  
2024年度：5,374人/月  
2025年度：5,738人/月（4～6月）  
（月平均）

【6月展開概要】  
紹介内容

- ・カーボンニュートラルの基礎知識
- ・CO2排出量と削減目標
- ・カーボンニュートラルに向けた取組み
- ・車工会HP URL  
<https://www.jabia.or.jp/cn/>
- ・CN困りごとの受付案内



# 中央技術委員会

# (1) 商用車電動化への取組み

## 【これまでの経緯】

2022年7月 CJPTとWG活動開始

＜対象機種＞

GVW8t以下の小型トラック

＜内容＞

①油圧駆動WG

②電力供給WG

2023年3月 基本的な方向性を合意し、  
プレスリリースの発行（右記）と  
会員展開

## 【2025年度取組み】

WG実施時の**残課題**（次ページ）に関する  
情報をOEM各社から入手

2023年03月31日

車工会とCJPTが共同で商用電動車と架装に関する方向性を共有

－架装関連企業とも連携し、商用電動車の普及に向けた取り組みを推進－

BEYOND ZERO, ニュースリリース, テクノロジー, CASE, 電動化, CJPT, カーボンニュートラル

Commercial Japan Partnership Technologies株式会社

Commercial Japan Partnership Technologies株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：中嶋 裕樹、以下、CJPT）\*1は、CASEの社会実装・普及に向け、輸送業が抱える課題の解決やカーボンニュートラルの実現への貢献を目指して、一般社団法人日本自動車車体工業会（本社：東京都港区、会長：宮内 一公、以下、車工会）と連携し、初の試みとして架装メーカーおよび関連架装機器メーカー（以下、業界各社）と共に、商用車電動化WGを設立し、商用電動車と架装に関わる課題と対応の方向性を共有いたしました。

商用車の中でも、小型・中型トラックは日本の「はたらく車」の中核であり、重要な社会インフラと言えます。トラックの電動化を進めるにあたり、架装においても従来のエンジン駆動のベース車とは異なる技術的対応が必要となります。架装の種類や方法は多種多様であるため、CJPTは商用電動車の普及に向けて業界各社との連携が重要と考え、架装の電動化対応に向けた取り組みを2022年2月より推進してまいりました。

2050年カーボンニュートラルを目指し、次世代に引き継ぐ持続可能な社会の構築に向けた具体的な取り組みが一層必要とされています。今後、商用架装車と架装機器\*2の電動化に向けて開発を円滑に行うため、CJPTは本活動を通じて業界各社の輪を拡げ、商用電動車の普及を着実に進めてまいります。

### 本活動を通じて共有した方向性

- ① エンジンに代わる架装物への動力提供
  - ・ 架装物の動力を、エンジン駆動からモーター出力または電力へ置換
- ② 電動車両と架装物の通信
  - ・ 電動車両の通信方式が様々である実態を踏まえ、既存規格へ将来的に準拠
- ③ 車両用電力と架装用電力の最適化
  - ・ 車両走行用電力と架装物駆動用電力を、最適なバランスで供給できる電力マネジメントと消費電力の最小化
- ④ 電池、水素タンクと架装物搭載の両立
  - ・ 従来の燃料タンクに比べ容積や重量の増加が見込まれる電池、水素タンクの搭載レイアウトの見直し
  - ・ 架装物搭載時の作業性向上

## (2) 情報収集項目（自工会連携を計画）

項目	当会からの要望	共有課題	対象	内容
代替能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動PTOの設定</li> <li>・24V電源/電力の残置</li> <li>・冷凍コンプレッサ駆動用動力の確保</li> </ul>	電動PTOの特性及びレイアウト	○	具体的な課題抽出と対応について OEMから情報収集
		架装物レイアウト成立性	○	
		電力供給のみとした場合の対応	○	
通信制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面のアナログ信号</li> <li>・CAN通信化時の仕様</li> </ul>	シャシ側アナログ信号対応	○	
		CAN通信化のタイミング	○	
		通信制御信号詳細との整合	○	
電力消費最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して電動化車両を使用できるエネルギーマネジメント</li> <li>・電力供給の要望確認</li> </ul>	架装物毎の必要電力量	○	
		安全確保、運搬物保護に必要なドライバー裁量への対応	○	
		コネクテッド技術の有効活用	○	
架装物締結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存架装構造継続</li> </ul>	シャシレイアウト・架装物締結	○	
架装支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・架装工事に関わる工場/法規対応</li> </ul>	作業者への高電圧教育対応	済	会員展開済
		工場内高圧ガス法規への対応	済	会員展開済
		架装車両への充電・水素供給の設備	○	情報収集後必要な対応検討
		架装資料記載内容	○	準備状況と具体的内容の確認
関連法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連法規明確化</li> </ul>	R10（電磁両立性）	済	会員展開済
		R100（電気パワートレイン）	済	会員展開済
		R155/156（サイバーセキュリティ）	○	架装側との電気接続の法規対応

### 会員がCNに向けて取組むには何が必要か

- 例えば
- ・部会での困りごとや課題は何か？
  - ・「情報発信を強化」は何が必要か？
  - ・情報発信の仕方は？
- その他

**ご意見を集約し、CN専門委員会や各委員会の活動を強化する**